

大切にできる力・自分で表現する力・チャレンジする力

2024年

3月7日

No.23

文責：永野

なかすじっ子



四万十市立中筋小学校 学校通信

2日（土）には、今年度最後の参観日に、大勢の保護者の方々に参加いただきありがとうございました。お家の方に見てもらえることは子どもたちにとっては本当に嬉しいことです。いつもに増して張り切っている様子が感じられました。

からふる朝会 「みんなで一緒に」

「からふる朝会」の名前には、みんな違ってみんないい の考えのもと、一人ひとり違った色をもっていること、多様性を尊重していることを踏まえています。今年度から始まった朝会です。中筋小学校の3つの力の「人を大切にできる力」に大きく関わっています。人権に関わる内容の共通理解を図ったり、友だちや自分のいいところを見つけあったり、学級や縦割りでの仲間づくりを行ったりしてきました。

2月27日（火）今年度最後の「からふる朝会」を体育館で行いました。ゲームの説明の後、「どんな言葉をかけてもらいたいかな、どんな言葉を聞くと嬉しいかな」と、まずふわふわことばをみんなで出し合って始めました。縦割り班でまずお題運びゲームをします。コーンまで到達するとカラーボールの中のお題を班の一人がジェスチャーをして班員で答えます。ジェスチャーの人は喋られないので正解が出てこない班の人は頭を悩ませていました。ジェスチャーする人も答える人も一生懸命なところが素敵でした。各班から出



カラーボールの中にお題が入っています。

てきたお題をみんなで確認すると、

にんじん 野球 サッカー

シーソー くしゃみ という言葉が張

り出されていました。この言葉に秘密が隠

されています。33名で協力して出てきた秘密は、

【ひとにやさしく】でした。子どもたちからはすぐに出てきて先生方から歓声が上がったことでした。人にやさしい中筋小学校の子どもたちでいてほしい思いを伝えて終わりました。

R6年度 児童会前期選挙

来年度の前期児童会選挙が2月29日（木）に行われました。5人の立候補者が演説を行いました。自分の良いところから、児童会として取り組めることはどんなことか、中筋小学校をどんな学校にしたいか、今起きていることから改善したいこと、今はできていないかもしれないけれどやってみたいこと等、5人がそれぞれに思いを伝えました。誰が当選してもよいと思え

演説前でドキドキの2人



る、はっきりとした声で、堂々と演説していた姿が印象的でした。チャレンジする力が発揮されている5人の子どもたちです。

今回当選したのは、会長：5年 さん、副会長：5年 さん、書記：4年 さんです。ドキドキした演説前の気持ちを大事に、公約を果たしてくれると信じています。

読み聞かせのみなさん ありがとうございます。

今年度最後の読み聞かせが3月1日（金）にあり、4名の方々にお礼の手紙を各学年の代表者が渡しました。

全員の手紙を読ませてもらいました。丁寧な文字で心のこもった内容にととても嬉しく思いました。自分で読むより楽しいこと、おかげで本が好きになったこと、読んでくれる本が面白くていつも楽しみにしていること、お話の世界に引き込まれてしまうこと、音楽をかけて読んでくれていつもと違う雰囲気になったこと、また来年度も来てください等が書かれていました。きっと4名の方々も喜んでいただけたことと思います。



ワックス清掃 で さらに美しい学校に 変身！

1年に1回のワックスがけ。予定の29日はあいにくの雨だったので、この日は大掃除で終わりました。2日目の予定だったところと1日目にできなかった場所を全てワックスがけをすることにしました。

水ぶきまでは全校で行い、ワックスからは4年生以上が行いました。今年度は体育館もかけることにしていたので、教室や特別教室の水ぶきが終わり次第体育館へ移動しての水ぶきを行いました。かなりの面積でしたが、遊ぶ児童がおらず、みんなが雑巾を持って拭いていました。

1～3年生が帰ってからワックスがけです。4～6年生も教室が終わったところから体育館へ移動し、最終的には体育館と校舎（階段・廊下）に分かれて行いました。体育館には横一列に並び、同じペースで進んでいきました。こんな時、おしゃべりしながらで騒がしくなることが多いのですが、黙々と作業できる15人の姿に感心しました。おかげで予定時刻よりとても早く終わることができました。今年度、学校評価アンケートでも体育館にワックスをかけてほしいお願いがあったので、叶えることができました。

読もっか
高知新聞 3/3

天才は有限、努力は無限

★四万十市・中筋小★

国語の「いにしえの言葉を味わおう」という学習で、一番心に残った言葉は「天才は有限、努力は無限」です。なぜなら、僕は6年生の時にサッカーを始めて、みんなに追いつけるように努力したからです。

僕が入った頃は、みんな1年生や2年生から始めていたので、すごく上手でびっくりしました。でも、みんなが僕にいろいろなことを教えてくれました。

それでも、みんなには追いつけないので、休みの日も頑張って練習しました。

初めて何かを経験する時は、失敗が多く、恥ずかしくてやる気を失ってしまうけど、努力すれば少しずつ少しずつレベルアップすることを忘れないようにしたいです。

「天才は有限、努力は無限」の言葉を心に刻んでいたいと思います。

(6年、 記者)